

# 6 がつひかりごう

令和元年6月1日 輝保育園

草木の緑が、一段と濃くなってきました。園庭に出ると、てんとう虫やダンゴ虫を見つけながら虫かごに入れる子ども達。「葉っぱを食べるかな?」「お水いるかな」と色々な思いが浮かんできます。そんな子ども達の心に芽生える気持ちに、共感しながら保育を進めていきます。

## 【【 保育参観 】】

過日、お知らせしましたように、「ひまわり組」から順次保育参観を行います。

午前中は子ども達の活動を見て頂き、給食試食、午後からは、個人面談を行います。

ご家庭と園でのお子さんの姿を通して、育ちの確認を中心にお話したいと考えています。

面談の日程調整などもありますので、1週間以上前に希望日をお知らせください。

## ★ 時の記念日 ★

6月10日は時の記念日です。

時間を大切に作る日として定められました。

時間と行動を知らせる事で、生活の見通しがもてるように過ごしていきます。

ご家庭でも、食事の時間、寝る時間等、お子さんと一緒に決め、生活の中に約束の時間を取り入れずご試みてはいかがでしょうか。

## = 6月の行事予定 =

- 6日(木) 避難訓練
- 21日(金) 身体測定、お誕生会



## == ナース・レポート ==

6月4日～6月10日は「歯と口の衛生週間」です。

虫歯はなぜできるのでしょうか?

実は、生まれたての赤ちゃんの口腔内には虫歯菌(ミュータンス菌)は存在していません。

そこからわかるように、虫歯菌は、唾液を介して感染する、感染菌なのです。

虫歯菌を口腔内に持っている大人の唾液が、コップや食器の使いまわしや、かわいいのでキスをしたりして赤ちゃんの口の中に入ると、虫歯菌に感染します。

乳歯の奥歯が生えてくるおおよそ18ヵ月から36ヵ月までの間は、親子感染しやすい「感染の窓」と呼ばれる期間で、特に注意が必要です。

虫歯菌の場合、感染症のウイルスなどとは違って移ったからアウトではありません。

実際に虫歯になるかどうかは、「甘いものの摂取頻度」、「適切な歯磨き」といった生活習慣が複合的に関わることで決まります。

歯は、一生の間、毎日欠かさず使う大切な物。

歯ブラシは1ヶ月を目安に交換をし、きちんと歯磨きをして、しっかり守っていきましょう!!

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投葉依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ コミュニケーション ☆☆

～ 大人のかかわり方 ① ～

コミュニケーションとは、人と人が言葉や身振り、表情、あるいは文字等を使って自分の気持ちや情報等を伝え合うことです。

伝え合うということは、自分の気持ちや情報等を相手に伝えようとする事や、それらを理解しようとする事が必要です。

つまり、一方的な伝達だけでは、コミュニケーションが成立したとは言いきれません。

子どもの話を最後まで聞く。

(言葉の先取りをしない)

子どもの話を最後まで聞かず、子どもが伝えたいことの意を汲んでしまい、大人が先に行動したり、話をしたりすることはありませんか。

「おかあさん、ご飯…」、「じゃあ、食べる準備をしようね」また、「子どもがうまく説明できずにいるところに、大人の側から内容を導き出す」などがわかりやすい例でしょう。

これらの積み重ねが、自分の思いを正確に伝えられないという現象につながります。

子どもが、「主語、述語」を使ってきちんと話せるようになるために、大人が言葉の先取りをせずに「待つこと」、「我慢すること」、そして「最後まで伝えられるよう仕向けること」、「(「ご飯をどうしたいの?」)が大切です。

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

こ  
ど  
も  
の  
よ  
う  
す

たんぽぽぐみ  
0才児



入園から2ヶ月が過ぎ、最近では、活動や遊びの時間にお友だちが気になるようです。「あの子が持っているおもちゃが欲しいな」と近付き手を伸ばしてみたり、友達顔や髪に触れてみたり、「あの子がやってくるから僕もやってみよう」と同じ遊びをしてみたり。こうしたやり取りからお友だちの存在が気になってきたようです。当然、玩具を取られた子は泣いて訴え、触られるのが嫌な子は声を上げて「イヤ」の気持ちを伝えます。そこにも小さな社会が育まれていく様子があり、玩具を取ったらお友だちが泣くこと、髪や顔を触ると大きな声上げられること、楽しい遊びはお友だちも笑って遊んでいることを学んでいる0才児のお友だちです。この様な時期ですので、ご家庭では1週間に1度、爪を切って頂くようお願い致します。

たんぽぽぐみ  
1才児



大型連休明けの久しぶりの登園に泣いて過ごす子が多いかと心配しましたが、ほとんどの子が、園のことを覚えていたようで、抱っこしているとすぐに泣きやみ、遊び始めています。月末には、どの子も食事、睡眠等もしっかりとれるようになってきて、戸外や、室内で好きな遊びを見つけてそれぞれ楽しんでいきます。高月齢児はおやつが終わると早速、自分のロッカーから帽子や靴下を出して準備を始めています。自分でしようとする時は見守り、出来ない時に一緒にしながら方法を知らせる事で、少しずつ自分で出来る事が増えてきています。低月齢の子も、毎日同じ流れでかかわることで、少しずつ流れが分かり、戸外への出入りや、手洗いなど、保育者の声かけにより、自分で行動しようとしています。

すみれぐみ  
2才児



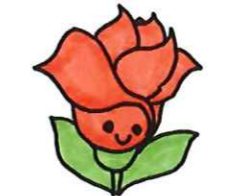
天気の良い日は、戸外で虫を探したり、身体を動かし好きな遊びを楽しんでいます。だんごむしや、てんとうむしを見つけると、バケツに入れ、じっと観察している子どもたち。触るのが怖く、少し離れたところからそっと見つめる子、顔を近づけ興味深そうに見つめる子とそれぞれです。中には、動く虫がおもしろく、足で踏みつぶしてしまったり、力強く手で握りしめてしまう子もいます。虫に興味を持って関わる中で、扱い方も伝えていき、虫にも命があるということ、学んでほしいと思います。また、自分の思いを上手く伝えることができません、泣いたり、叩いたり色々な形で表すと共に、甘えたい気持ちがあふれています。家庭と協力しながら、子ども達の甘えや欲求をしっかり受け止め、気持ちを受け止めてもらえる喜びを感じ、情緒の安定を図りたいと思います。

ちゅうりっぷぐみ  
3才児



進級して約2ヶ月が過ぎ、新入園児さんの会話の中にもお友達の名前が出てくるようになりました。一緒にお山を作ったり、一緒に三輪車に乗ったり。「一緒」の楽しさを感じ始めたようです。着脱では「衣服の前後を見極める事」を目標に取り組んでいます。見極め方の知識を得ること、さらに得た知識を生活に活かし、知恵に変える事がポイントです。襟元を口に見立て、「洋服を下に置いて、お口が見えたら×、見えなかったら○だよ」と教えています。知識と体験を一致させる喜びは、正しく着るという技術の習得だけでなく、出来たという自信で心を満たしてくれます。生活の中の何気ない「着脱」ですが、子どもたちが大きく成長するチャンスがたくさん詰まっています。試行錯誤する過程を保証する事も大人の大切な役目であると考えましょう。

ばらぐみ  
4才児



ある日、クラスみんなでバナナ鬼ごっこをしました。タッチされたら、その場で両手をあげ動くことはできませんが、仲間に助けってもらえると再び逃げる事が出来る遊びです。開始すぐに1人タッチされましたが、タッチされた子は笑いながら逃げていきました。その子と一緒に、ルールを再確認しました。その後、ルールを守って遊ぶことが出来、大切さにも気づきました。また、仲間が気づいて助けてくれることで、悔しい気持ちを次に繋げて「今度こそ捕まらないぞ」という思いが芽生え、楽しむことが出来ました。相手の気持ちを考え、仲間意識が芽生えるこの時期、子ども達のありのままを受け入れる姿勢を大切にします。そのことで子ども自身も友達の良さに気付いていけるよう保育をしていきます。

ひまわりぐみ  
5才児



先日、畑やプランターに野菜の苗と花の種を植えました。女の子を中心に「大きくなってね」と声をかけたり「喉が乾いているみたい」、「元気がないみたい」などと言いながら、観察したり、お世話をしたりしています。最後まで友だちと協力し合いながら大切に育て、たくさん発見や不思議に出会い、自分たちで育てた野菜を収穫したり食べたりする喜びを感じてほしいと願っています。また、運動会の鼓隊に向けてリズム遊びをしています。果物の名前に合わせてリズムを叩いています。リズムを覚えようと一生懸命取り組んでいますが、自信がもてない子もいます。それぞれの気持ちに寄り添い、努力する姿を認めながら活動を進め、苦手なことも努力してできるようになる喜びや難しくてもついで体験をしながら、心が成長していくことを期待しています。